

最近の経済動向

平成30年9月号

北海道の景気動向(平成30年7月の経済指標を中心として)

持ち直している

■ 鉱工業生産動向

P 1 生産活動(鉱工業生産指数)
持ち直しの動きがみられる

■ 需要動向(消費・投資)

P 2 個人消費(百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、
専門量販店販売額、新車登録台数)
回復しつつある

P 3 住宅建設(新設住宅着工戸数)
減少している

P 4 公共工事(公共工事請負金額)
減少している

P 4 観光(来道者数)
改善が進んでいる

P 5 輸出入(輸出入額)
輸出額は前年を下回り、輸入額は前年を上回った

■ 企業倒産

P 6 企業倒産(件数、負債総額)
倒産件数は増加したが、負債総額は減少した

■ 雇用動向

P 7 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率)
改善が進む中、人手不足感がみられる

P 7 失業(完全失業者数、完全失業率)

■ 物価動向

P 7 物価(消費者物価指数)
消費者物価指数は前年を上回った

■ 企業の業況感

P 8 企業経営者意識調査
前期から下降している

■ 企業情報

P 9 企業のみなさまから伺いました

■ 地域の経済動向

P 10 道南地域、道央地域、道北地域、オホーツク地域、十勝地域、釧路・根室地域

■ 景気動向指数

P 16 北海道の景気動向指数

※なお、本資料は7月の経済指標を中心として判断しているため、「北海道胆振東部地震」の経済に与える影響について反映していない。

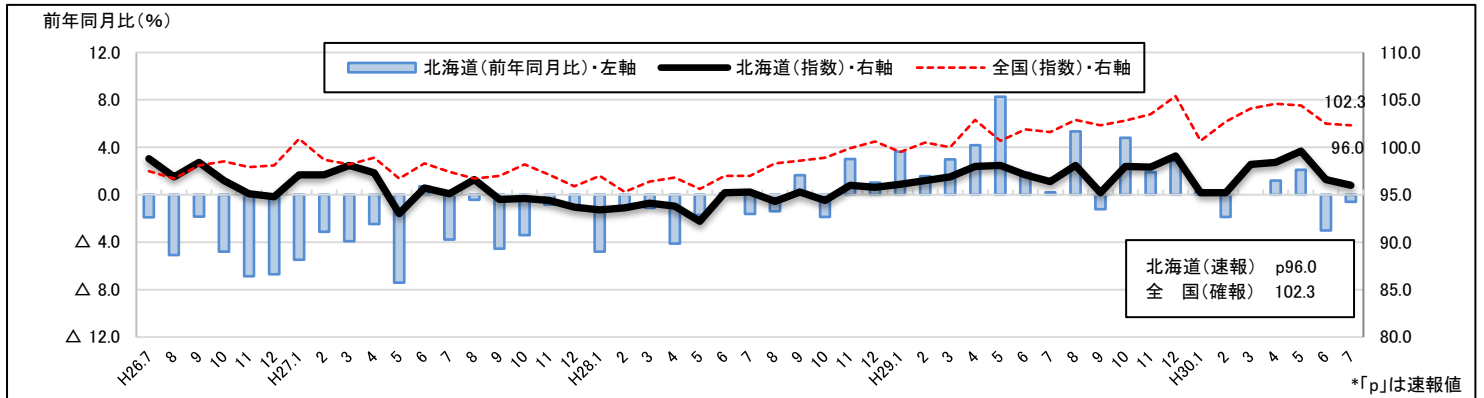
■生産活動～持ち直しの動きがみられる

鉱工業生産指数（7月）

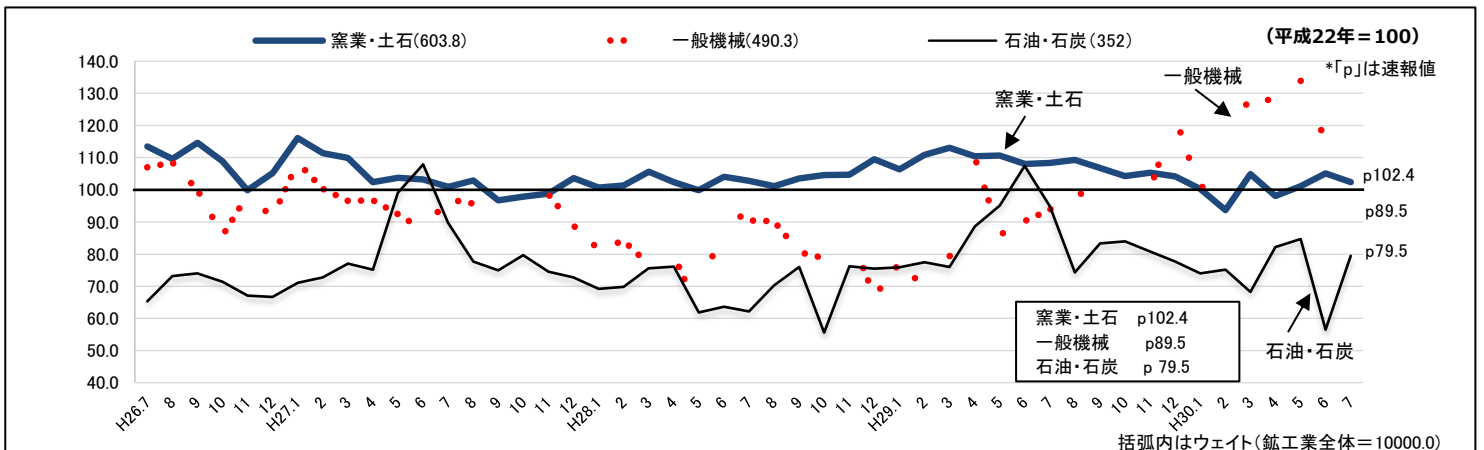
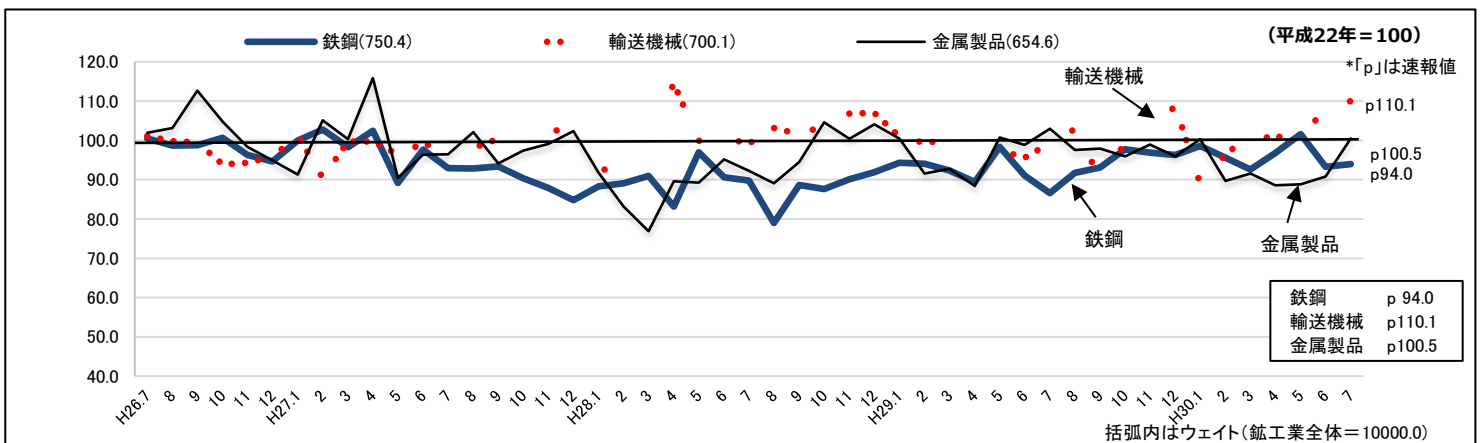
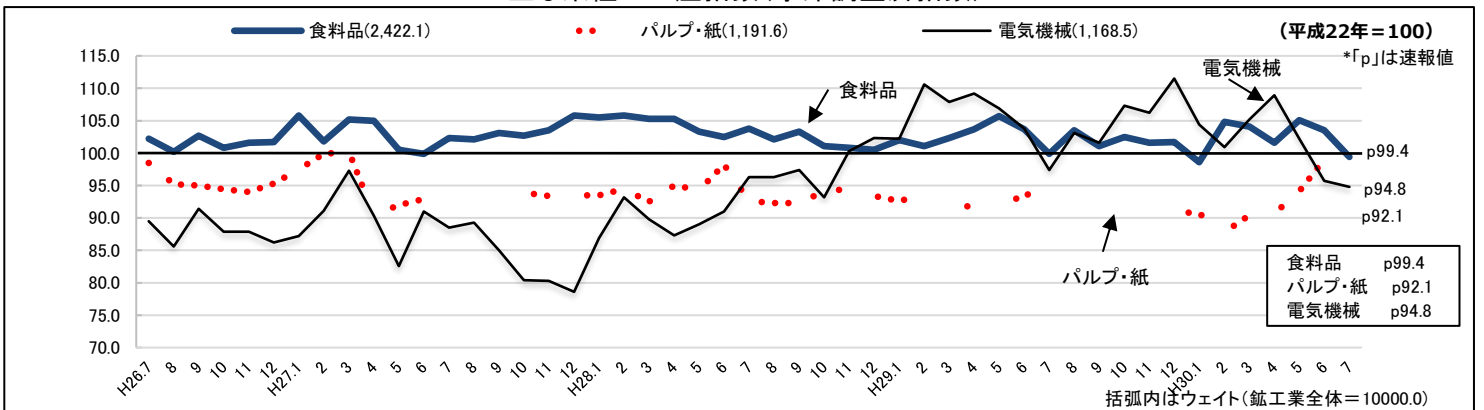
鉱工業生産指数(季節調整済)は、96.0で前月比△0.6%(2か月連続の低下)であり、原指数による前年同月比は、+0.8%(2か月ぶりの上昇)となった。業種別にみると、一般機械工業等10業種が前月比低下、石油・石炭製品工業等の6業種が前月比上昇となった。

鉱工業生産指数(季節調整済指数)

(平成22年=100)



主な業種の生産指数(季節調整済指数)



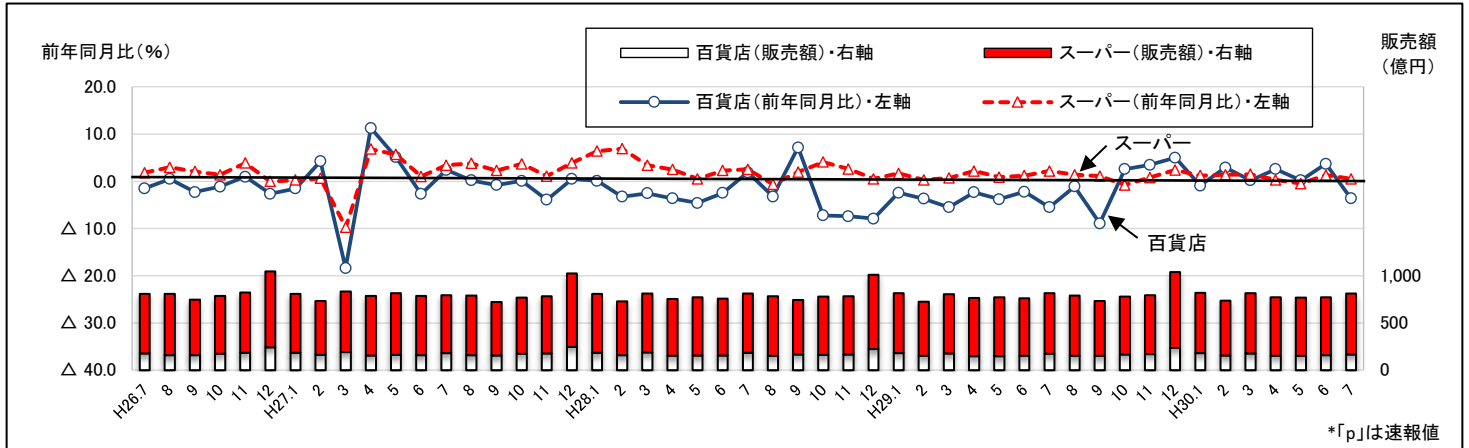
(資料：北海道経済産業局)

■個人消費～回復しつつある

百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(7月)

- ・百貨店の販売額は、168億円で前年同月比3.6%の減少となり、6か月ぶりに前年を下回った。品目別にみると、その他は前年を上回ったものの、衣料品、身の回り品、飲食料品は前年を下回った。
- ・スーパーの販売額は、645億円で同0.5%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。品目別にみると、衣料品、身の回り品、その他は前年を下回ったものの、飲食料品は前年を上回った。

百貨店・スーパー販売額と前年同月比【全店ベース】

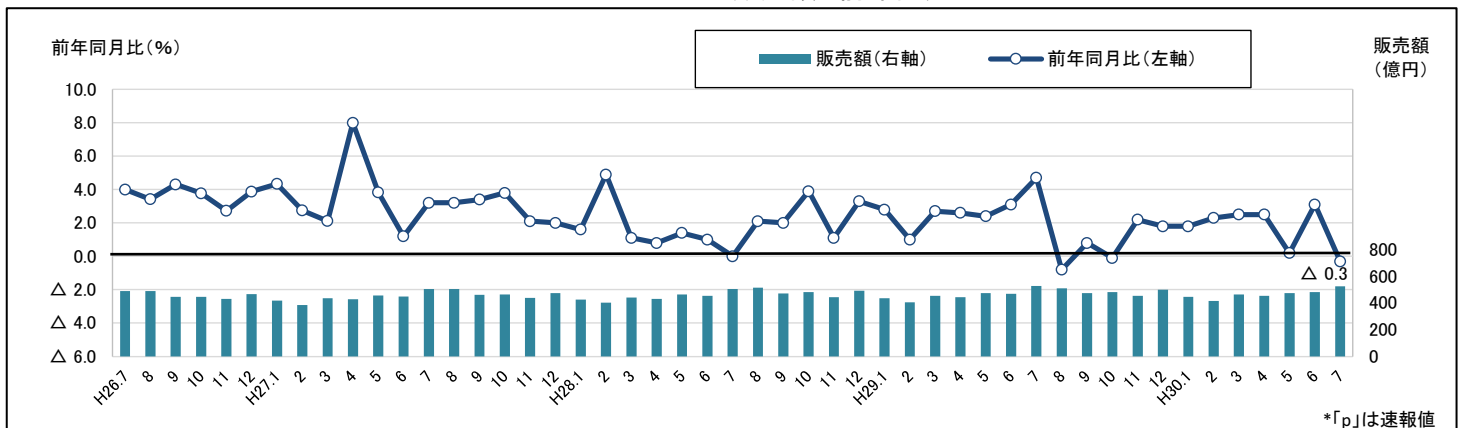


(資料：北海道経済産業局)

コンビニエンスストア販売額(7月)

- ・コンビニエンスストア販売額は、526億円で前年同月比0.3%の減少となり、9か月ぶりに前年を下回った。

コンビニエンスストア販売額と前年同月比

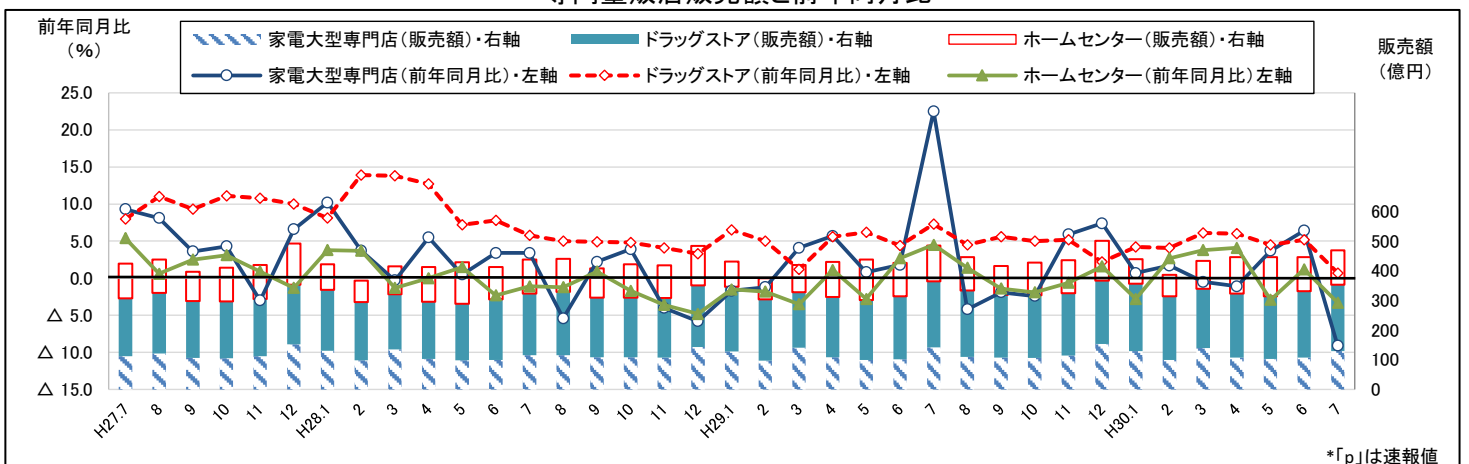


(資料：経済産業省)

専門量販店販売額(7月)

- ・家電大型専門店販売額は、129億円で前年同月比9.1%の減少となり、3か月ぶりに前年を下回った。
- ・ドラッグストア販売額は、224億円で同0.7%の増加となり、39か月連続で前年を上回った。
- ・ホームセンター販売額は、116億円で同3.3%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。

専門量販店販売額と前年同月比

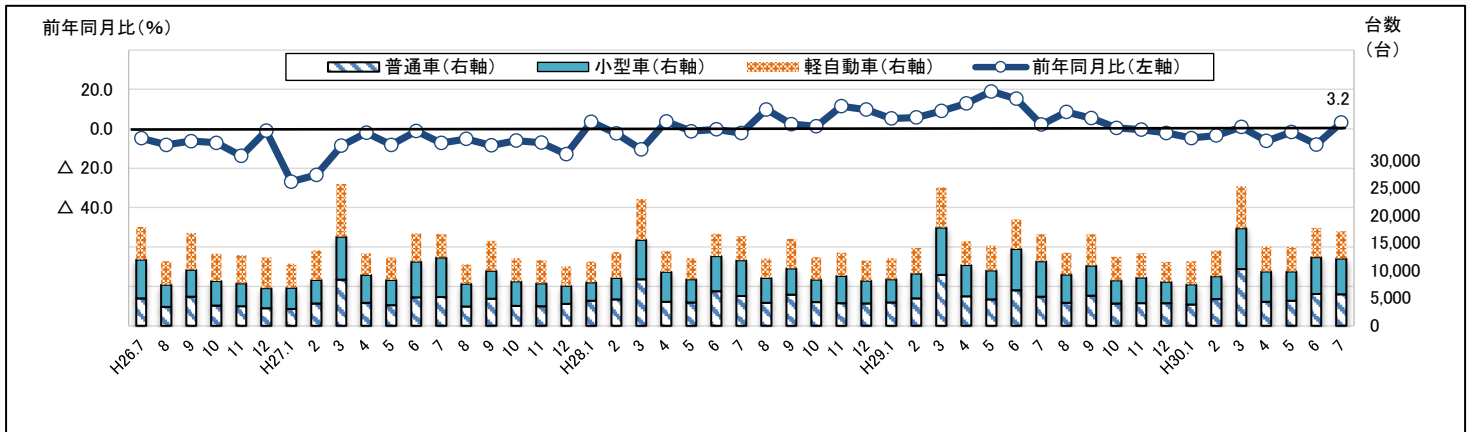


(資料：経済産業省)

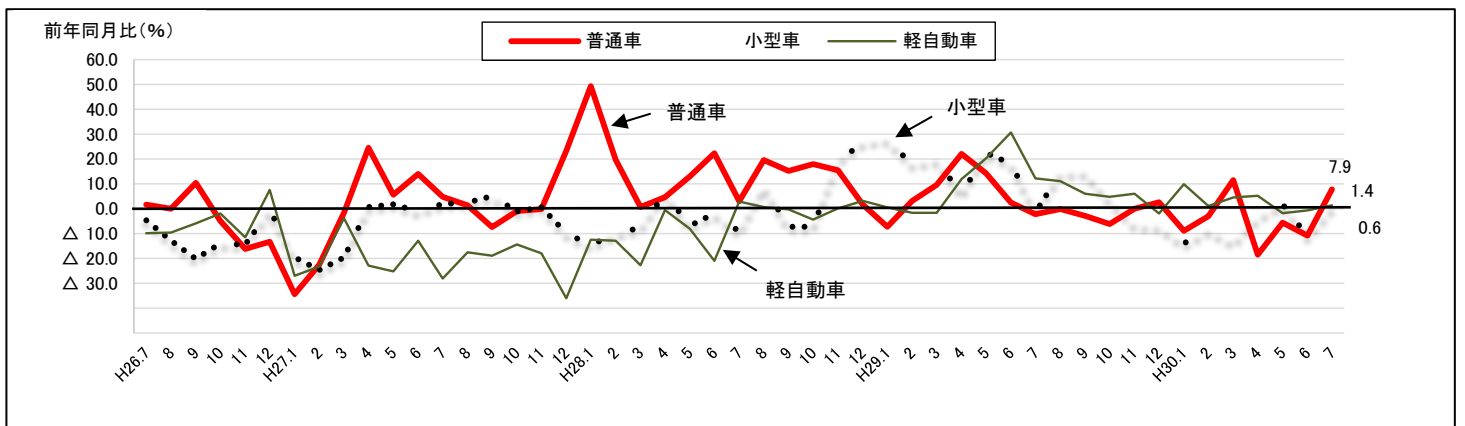
新車登録台数（7月）

新車登録台数は、17,145台で前年同月比3.2%の増加となり、4か月ぶりに前年を上回った。車種別にみると、普通車は、5,682台で同7.9%の増加、小型車は、6,482台で同0.6%の増加、軽自動車は、4,981台で同1.4%の増加となった。

新車販売台数と前年同月比



車種別販売台数の前年同月比



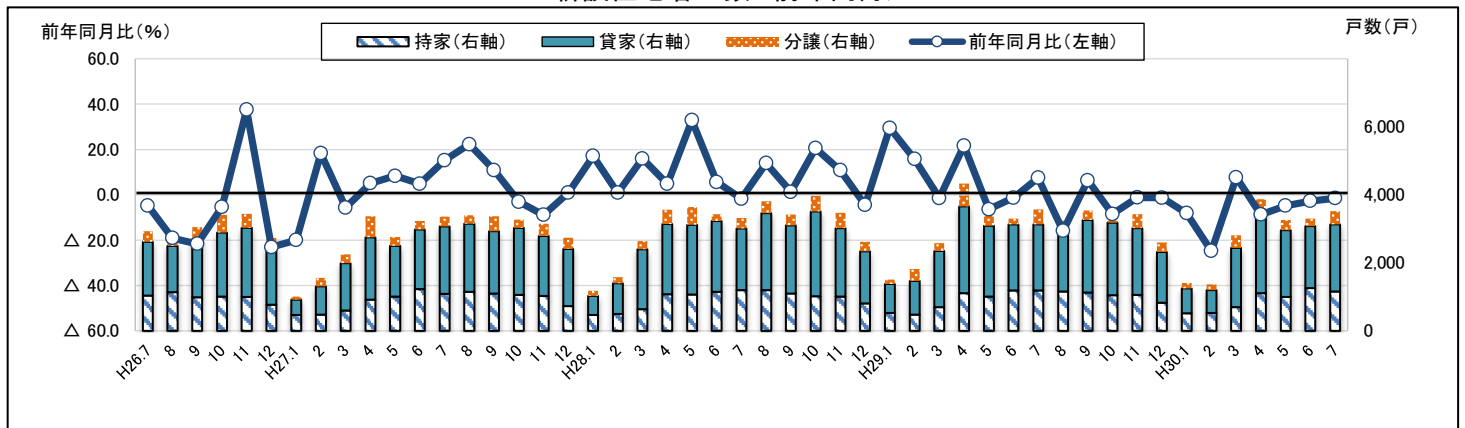
(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

住宅建設～減少している

新設住宅着工戸数（7月）

住宅着工戸数は、3,542戸で前年同月比1.5%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。利用関係別にみると、持家は、1,160戸で同2.3%の減少、貸家は、1,972戸で同1.7%の増加、分譲住宅は、385戸で同13.5%の減少となった。

新設住宅着工数と前年同月比



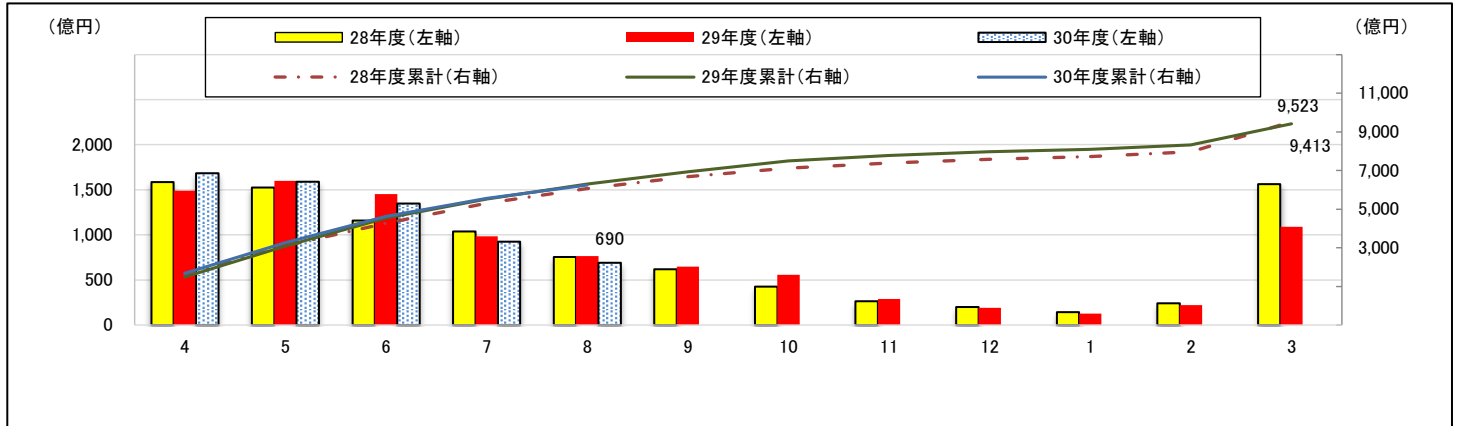
(資料：国土交通省)

■公共工事～減少している

公共工事請負金額（8月）

請負金額は、690億円で前年同月比9.8%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。工事目的別にみると、生活基盤が275億円(全体の39.9%)、産業基盤が156億円(同22.6%)、農林・水産が114億円(同16.6%)、治山・治水が99億円(同14.4%)、その他が44億円(同6.4%)となっている。

公共工事請負金額



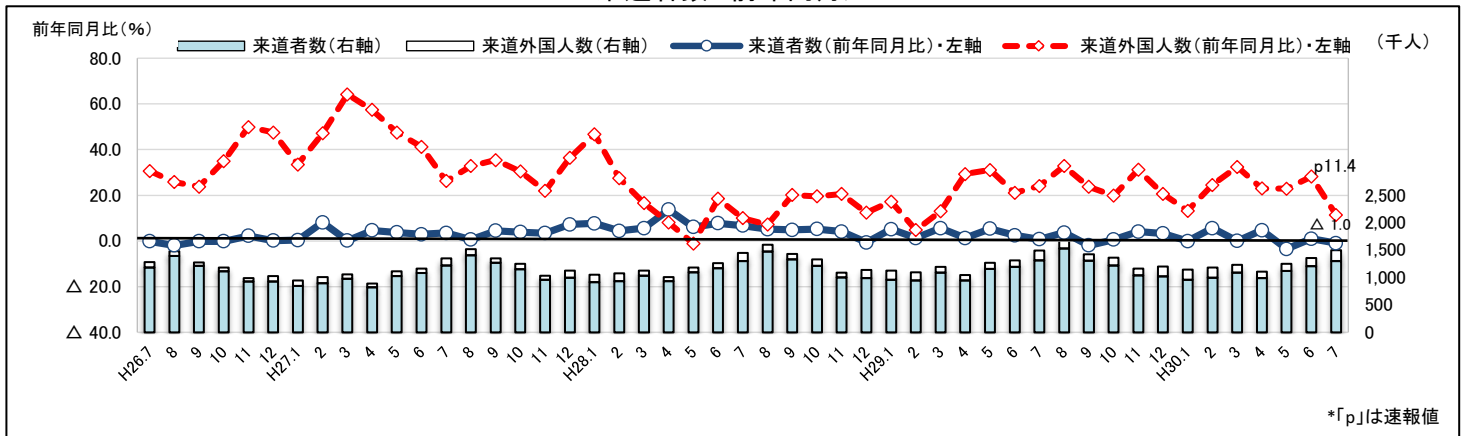
(資料：(株)北海道建設業信用保証)

■観 光～改善が進んでいる

来道者数（7月）

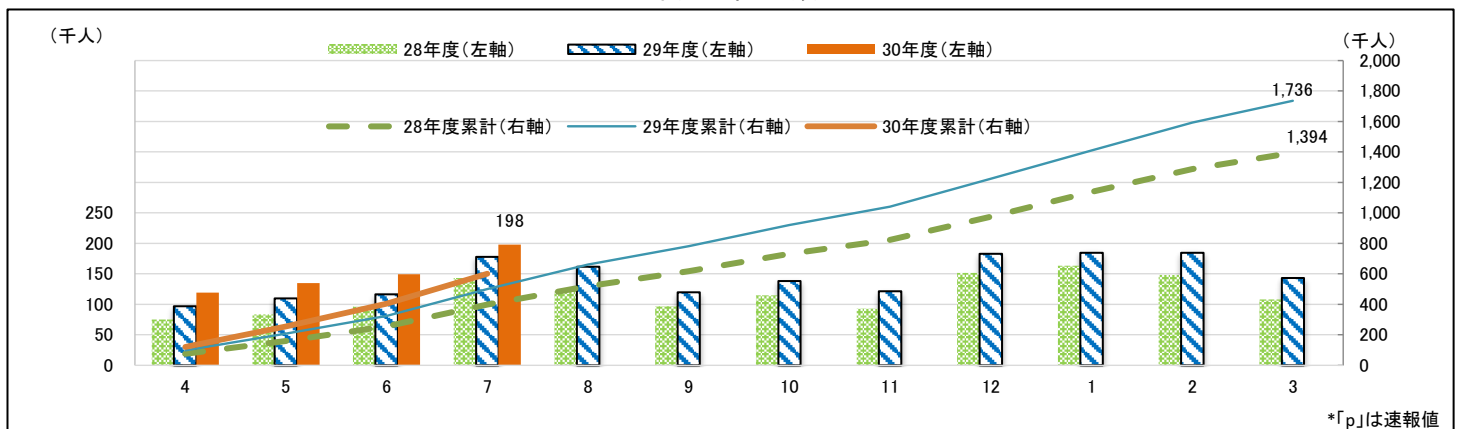
来道者数は、130万人で前年同月比1.0%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。本道に直接入国した外国人は、19万8千人で同11.4%の増加となり、26か月連続で前年を上回った。

来道者数と前年同月比



(資料：(公社)北海道観光振興機構、法務省入国管理局)

来道外国人数



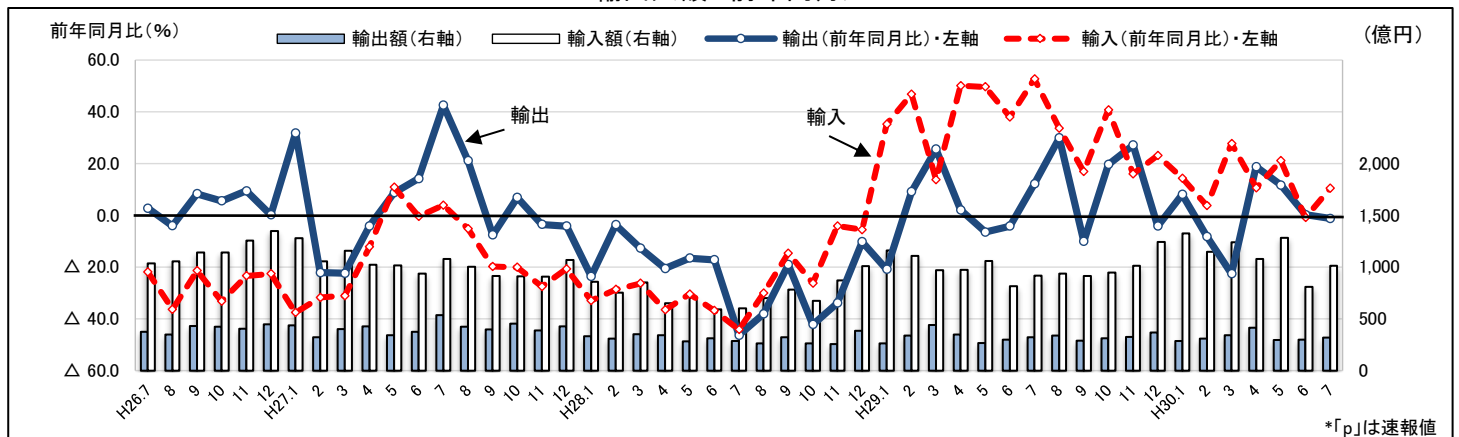
(資料：法務省入国管理局)

輸出入～輸出額は前年を下回り、輸入額は前年を上回った

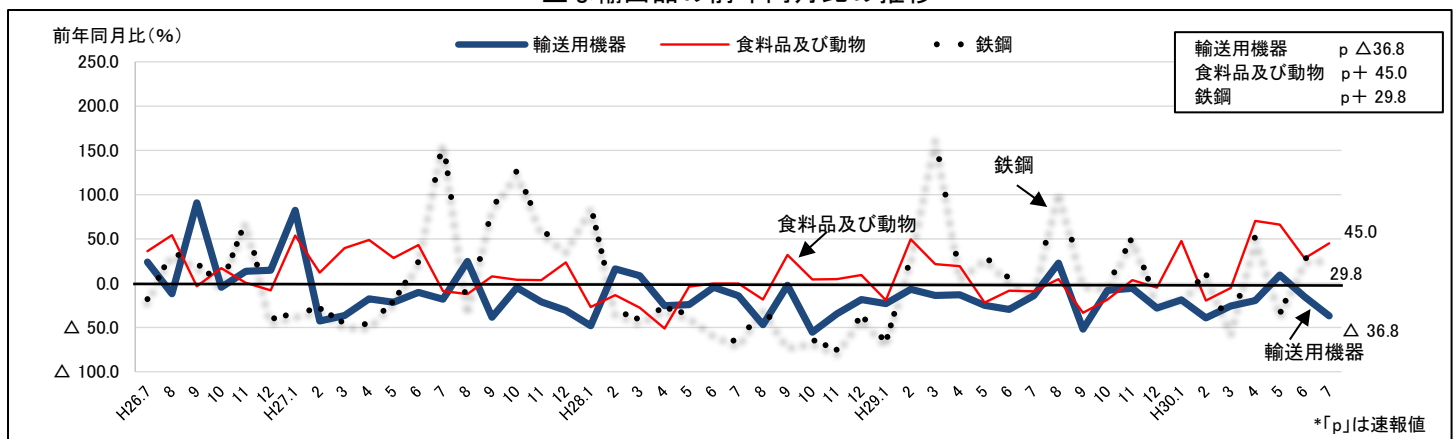
輸出入額（7月）

・輸出額は、319億円で前年同月比1.2%の減少となり、4か月ぶりに前年を下回った。
 品目別にみると、生きた動物、鉄鋼などが増加したものの、自動車の部分品、船舶、鉄鋼くずなどが減少となった。
 ・輸入額は、1,014億円で同10.4%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。
 品目別にみると、石油ガス類、鉄鋼などが減少したものの、石油製品、肥料、一般機械などが増加となった。

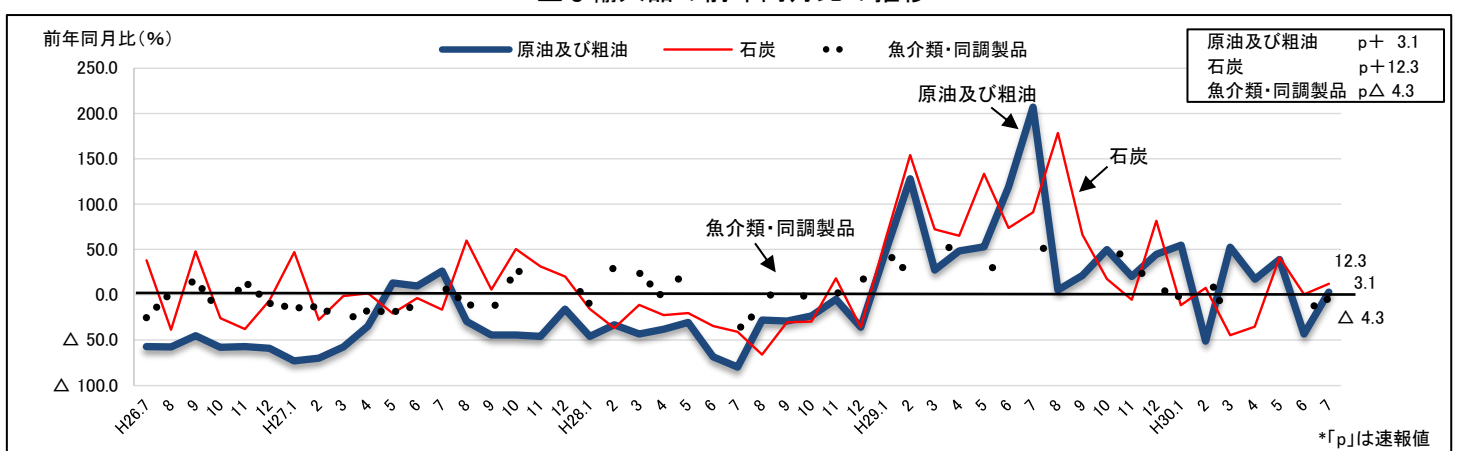
輸出入額と前年同月比



主な輸出品の前年同月比の推移



主な輸入品の前年同月比の推移



(資料：函館税関)

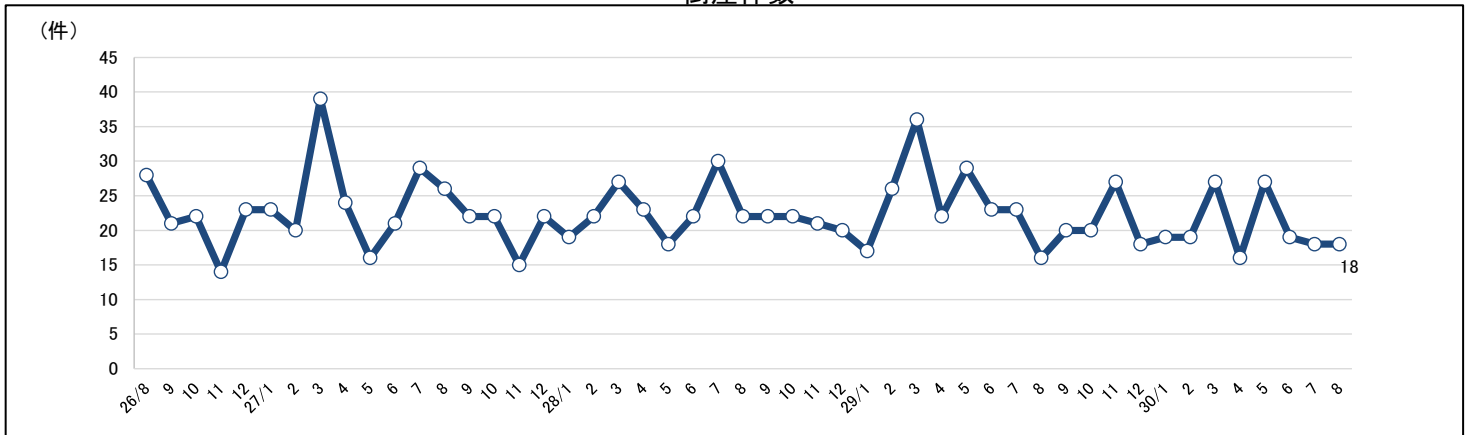
■企業倒産～倒産件数は増加したが、負債総額は減少した

企業倒産（8月）

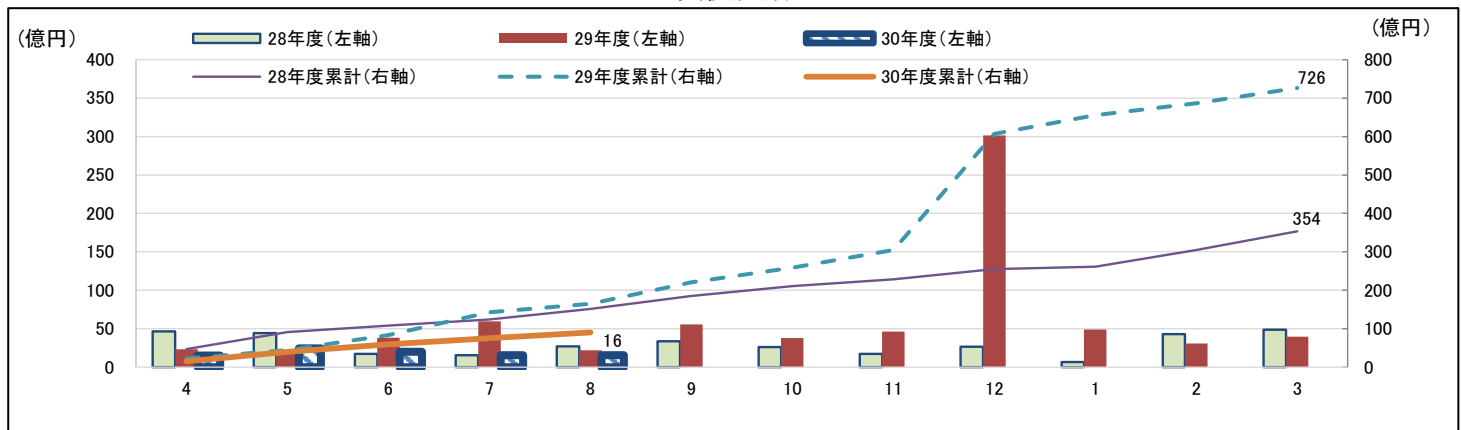
企業倒産件数は、18件で前年同月比12.5%の増加となり、7か月ぶりに前年を上回り、負債総額は、16億円で同29.6%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。

原因別で見ると、販売不振が10件（55.6%）と過半数となり、業種別では、サービス・他が4件（22.2%）で最多となり、建設業、製造業、小売業が各3件（16.7%）となった。

倒産件数



負債総額



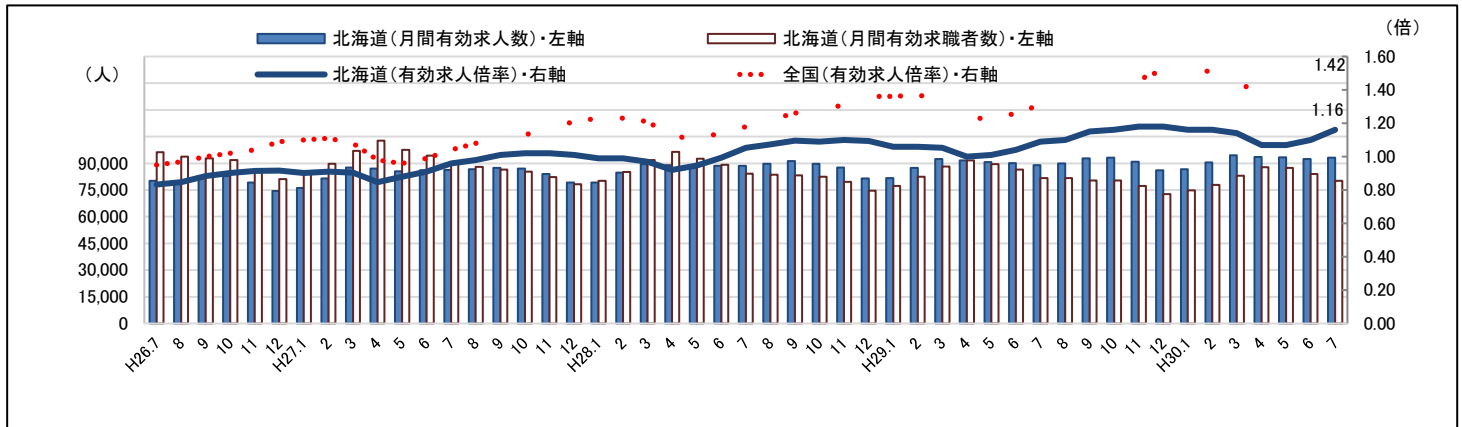
(資料：(株)東京商工リサーチ北海道支社)

■求人・求職～改善が進む中、人手不足感がみられる

月間有効求人数・求職者数・有効求人倍率（7月）

月間有効求人数は、9万3,093人で前年同月比4.7%の増加となり、102か月連続で前年を上回った。
 月間有効求職者数は、8万73人で同2.0%の減少となり、81か月連続で前年を下回った。
 有効求人倍率は、1.16倍で前年同月差で0.07ポイントの増加となり、102か月連続で前年を上回った。

有効求人倍率(常用)・求人数・求職者数



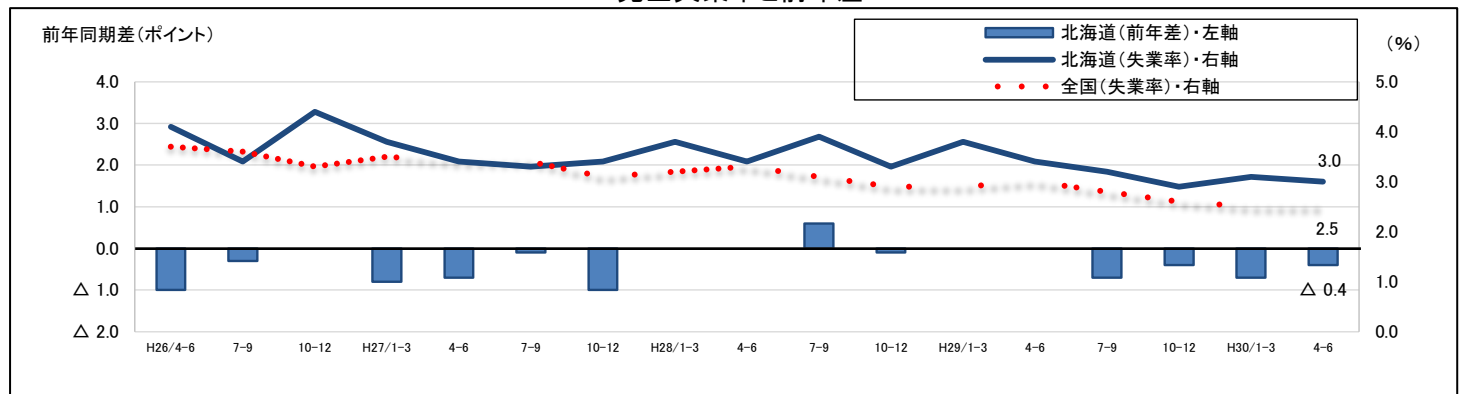
(資料:厚生労働省及び北海道労働局)

■失 業

完全失業者数、完全失業率(30年4-6月期)

完全失業者数は、8万人で前年同期と比べ、1万人減少となっている。
 完全失業率は、3.0%で前年同期と比べ、0.4ポイント低下となっている。

完全失業率と前年差



(資料:厚生労働省及び北海道労働局)

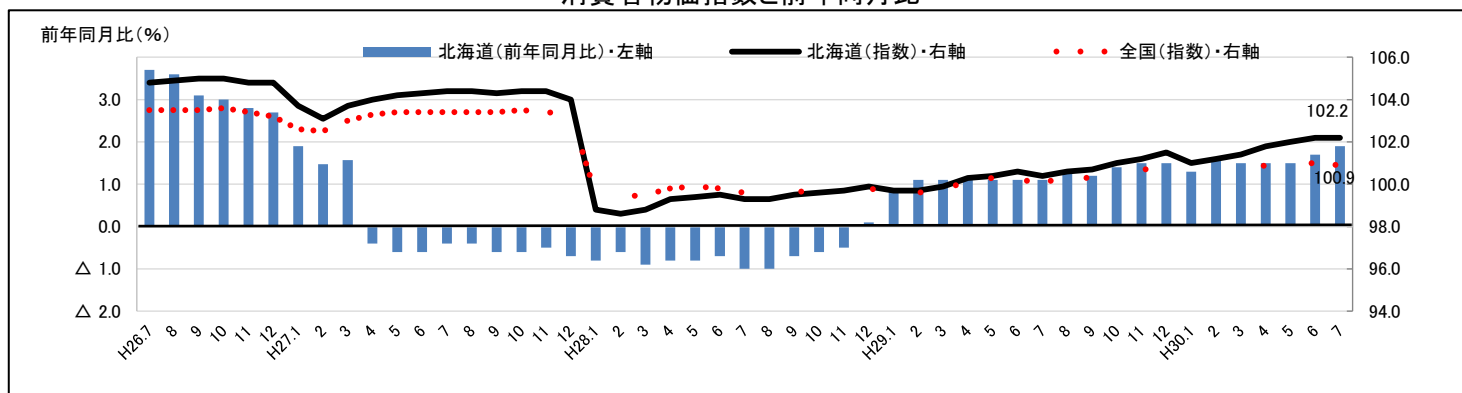
■物 価～消費者物価指数は前年を上回った

消費者物価指数(生鮮食品除く)(7月)

消費者物価指数は、102.2で前年同月比1.9%の上昇となり、20か月連続で前年を上回った。

消費者物価指数と前年同月比

(平成27年=100)



(資料:総務省)

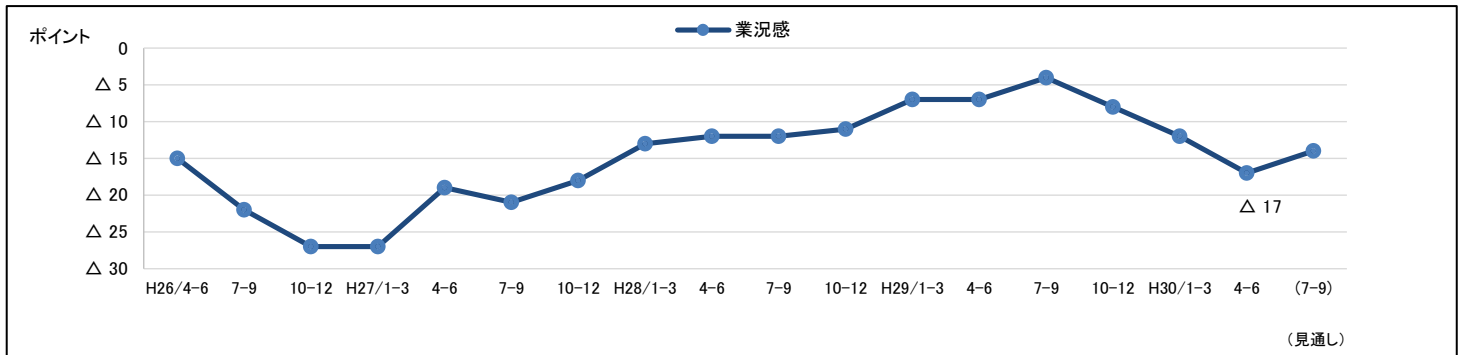
■企業の業況感

企業経営者意識調査（30年4-6月期）

今期の業況感BSIは、△17で前期から5ポイント下降した。

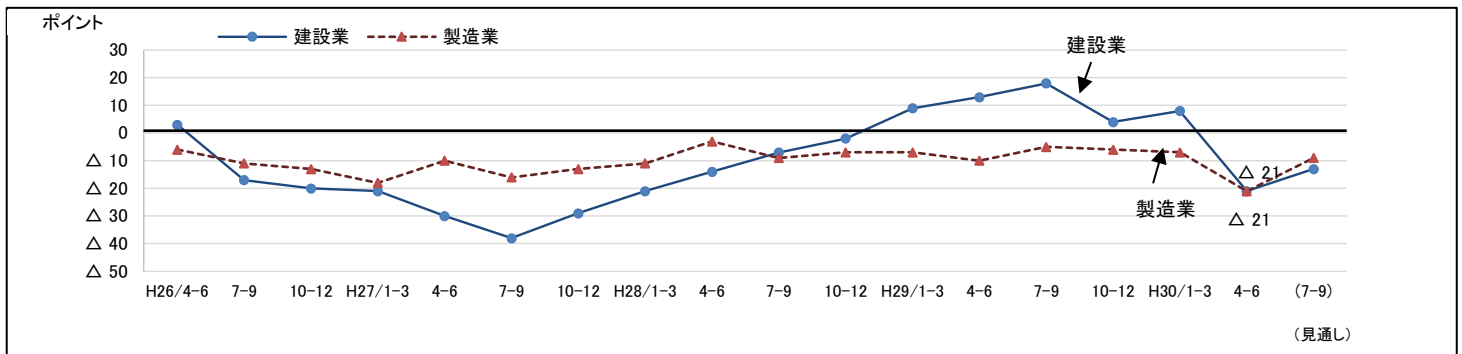
- ・業種別では、卸売・小売業、サービス業で上昇、建設業、製造業、運輸業で下降した。
- ・地域別では、道南、道央で上昇、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室で下降した。

企業の業況感の推移



(資料:北海道)

業種別業況感(建設業、製造業)



(資料:北海道)

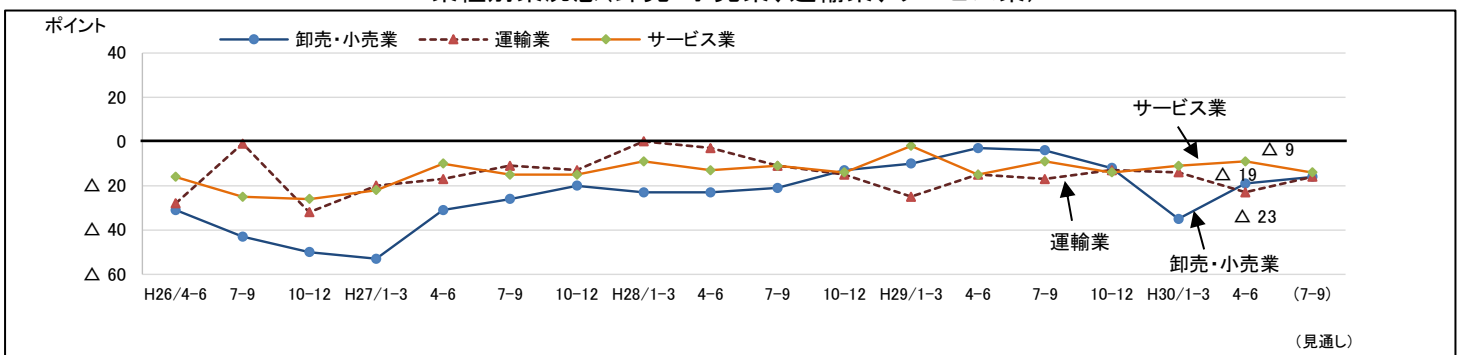
【建設業】 29ポイント下降 (前期 + 8 → 今期 △ 21)

- ・土木工事業や建築工事業、電気工事業がマイナスに転換
- ・一般土木建築工事業や舗装工事業、電気通信・信号装置工事業でマイナス幅が拡大

【製造業】 14ポイント下降 (前期 △ 7 → 今期 △ 21)

- ・セメント・同製品製造業や建設用・建築用金属製品製造業、一般産業用機械・装置製造業がマイナスに転換
- ・水産食料品製造業や農業用機械製造業などでマイナス幅が拡大

業種別業況感(卸売・小売業、運輸業、サービス業)



(資料:北海道)

【卸売・小売業】 16ポイント上昇 (前期 △ 35 → 今期 △ 19)

- ・化学製品卸売業や鉄鋼製品卸売業などでプラス幅が拡大
- ・農畜産物・水産物卸売業、建築材料卸売業、自動車小売業などでマイナス幅が縮小

【運輸業】 9ポイント下降 (前期 △ 14 → 今期 △ 23)

- ・沿海海運業がマイナスに転換
- ・一般乗用旅客自動車運送業や一般貸切旅客自動車運送業、倉庫業などでマイナス幅が拡大

【サービス業】 2ポイント上昇 (前期 △ 11 → 今期 △ 9)

- ・産業用機械器具賃貸業や産業廃棄物処理業、食堂・レストランなどでプラス幅が拡大
- ・旅館・ホテル業やソフトウェア業がマイナスに転換

[企業情報]

□企業のみなさまから伺いました

◆百貨店（道央地域）

【天候が優れなかったものの、業績は堅調に推移した】

8月は天候が優れない日が多かったものの、催事等で来店客数が増えたほか、秋物が好調だったことから、業績は堅調に推移した。

一方で、インバウンド消費に鈍化傾向が見られるようになっており、9月に発生した地震の影響で今後はさらにインバウンド消費の減少が予想される。

◆スーパー（道央地域）

【来店人数は伸びなかったが売上は前年並の水準を維持】

8月は、祝日（山の日）が土曜日と重なったことや、中旬以降は雨の降った日が多かったことから、前年と比べて来店人数が若干減少したが、客単価が上がったため、売上は前年並みを維持することができた。天候の影響を受けてアイスや飲料などの夏物食材が伸びなかったが、野菜は、単価の上昇に比例して売上も増加した。

今年のお盆は天気が悪くなる予報だったため、お盆の買い物に前倒しの傾向が見られた。

◆コンビニエンスストア（道央地域）

【都市部で堅調】

8月は、お盆期間に悪天候の影響を受けて客足が鈍り、飲料やアイスなどの夏型商品が苦戦したものの、前半が好調だったことから、前年並みの売上を確保することができた。

また、お盆期間は天候不順により近場で移動する人が多かったことから、都市部の店舗では客足が堅調だった。

◆製造業（水産食料品）（オホーツク地域）

【最近の売上状況】

不漁で原価が高い状況が数年続いている。特にカニの浜値は、頭打ちと言われながら高騰しており、利益を圧迫している。

ふるさと納税の返礼品も出しているが、寄付者側の心理が変わってきており、年末に8割の注文が集中していることから、お中元、お歳暮などのイベントでどれだけ注文をとれるかが勝負。

◆運輸業（一般乗合旅客自動車運送業）（オホーツク地域）

【最近の売上状況】

他社と共同運行している「網走一札幌間」の都市間バスは好調であり、収益はあがっているが、それ以外は赤字路線である。

夏の観光バスの需要は、レンタカーのカーナビ機能の進化による個人客の増加などで減少傾向だが、冬の流氷の時期は、観光客増加に伴い、冬道運転に慣れていないことなどからバスの需要が多くなっている。

年々、人口減少が続いているほか、住宅地が広がっていることから、自家用車の使用が増え、地元客の利用が減っている。

【雇用動向】

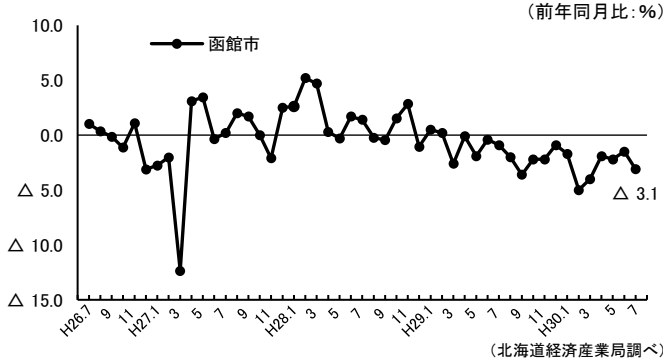
運転手及び運送後のバスを清掃する清掃員が足りないなど、人手不足と高齢化が喫緊の問題。運転手確保のため、給料の上昇、手厚い養成制度の実施、定年の延長など人件費が増えている。

[地域の経済動向]

■道南地域(渡島、檜山)

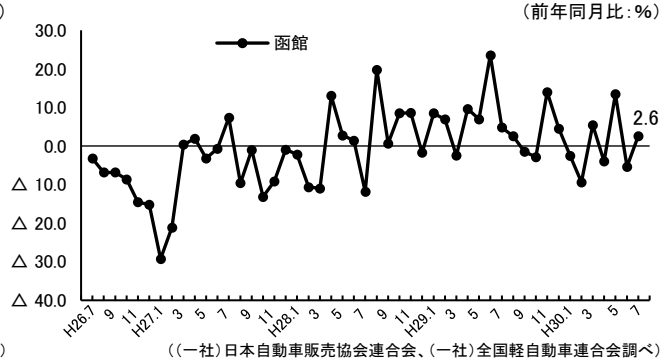
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(7月)

17か月連続で前年を下回った



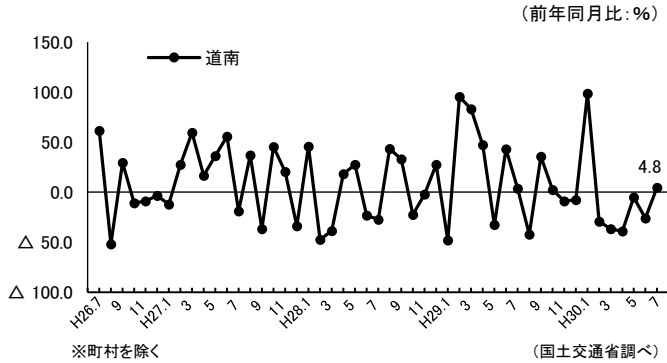
◆新車登録台数(乗用車)(7月)

2か月ぶりに前年を上回った



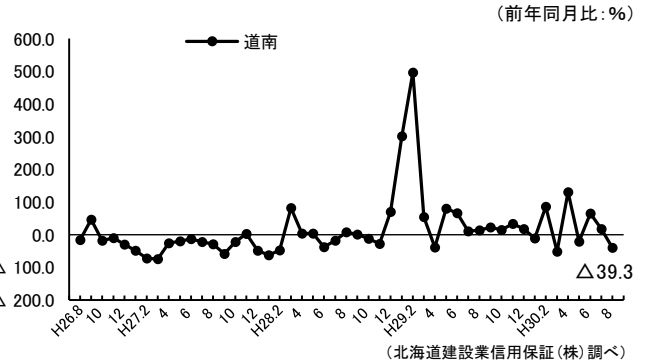
◆新設住宅着工戸数(7月)

6か月ぶりに前年を上回った



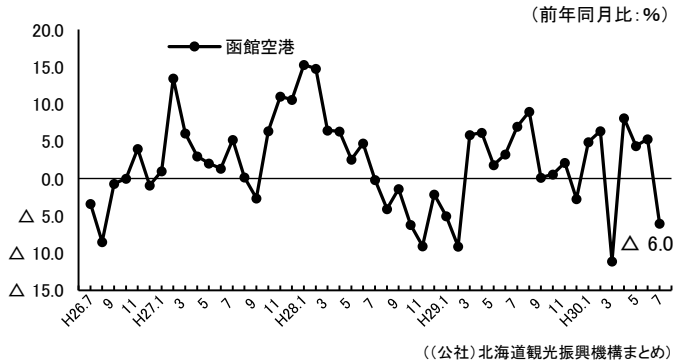
◆公共工事請負金額(8月)

3か月ぶりに前年を下回った



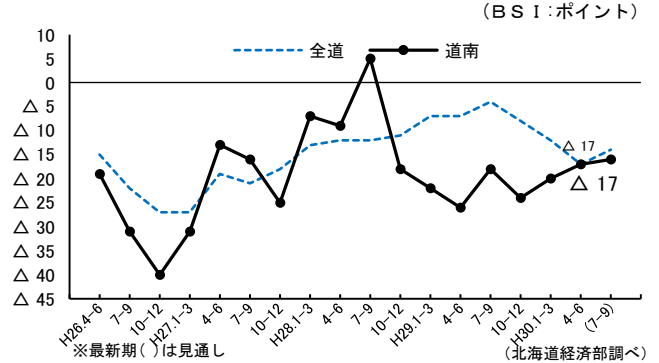
◆航空機利用による来道者数(着地別)(7月)

4か月ぶりに前年を下回った



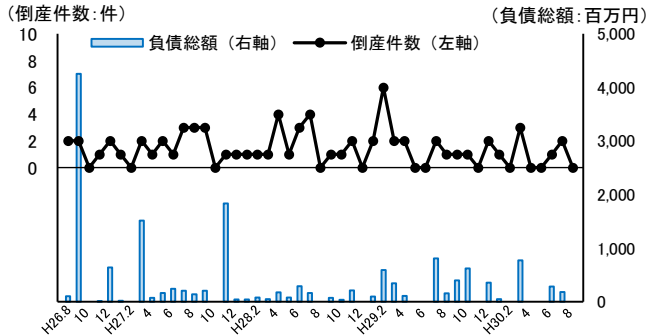
◆企業の業況感(4-6月期)

前期からマイナス幅が縮小した



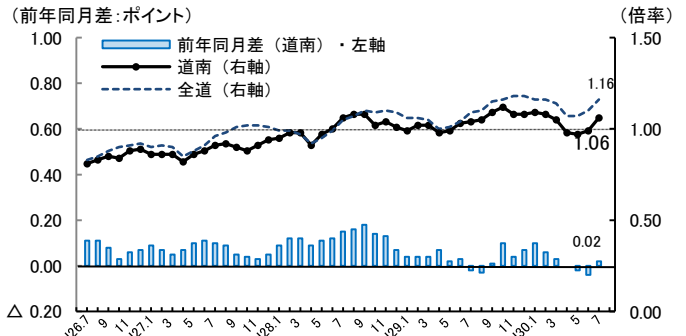
◆企業倒産件数・負債総額(8月)

倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(7月)

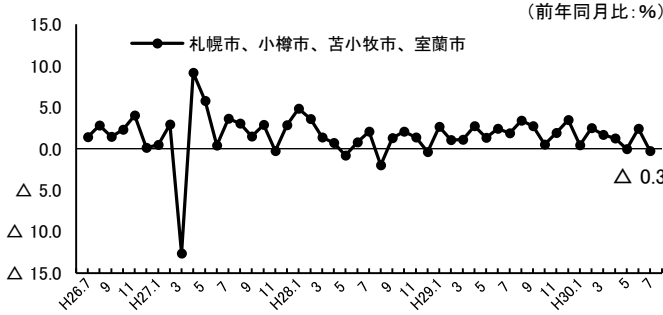
4か月ぶりに前年を上回った



■道央地域（石狩、空知、後志、胆振、日高）

◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース) (7月)

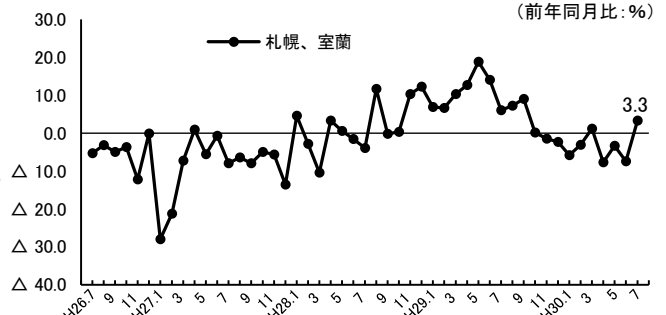
2か月ぶりに前年を下回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車) (7月)

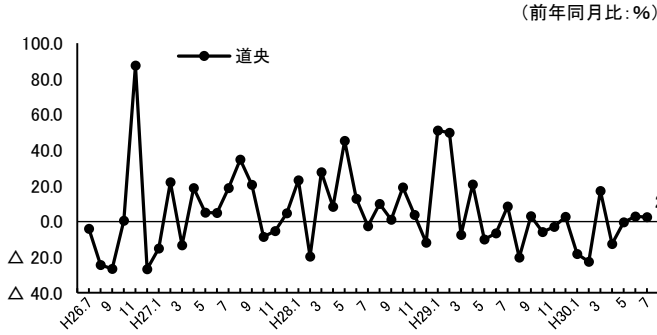
4か月ぶりに前年を上回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数 (7月)

2か月連続で前年を上回った

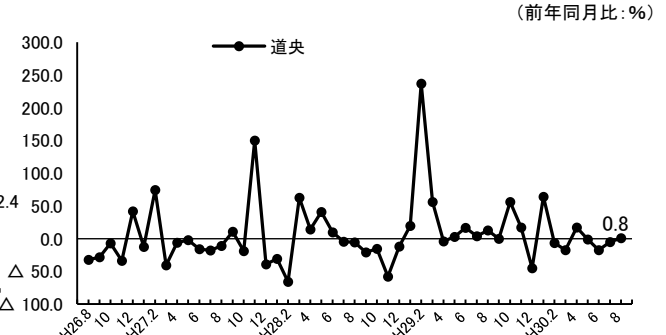


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額 (8月)

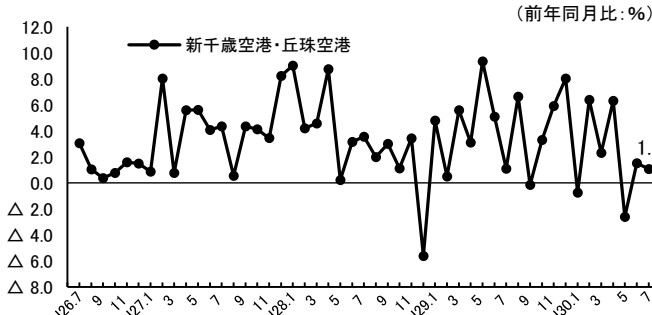
4か月ぶりに前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別) (7月)

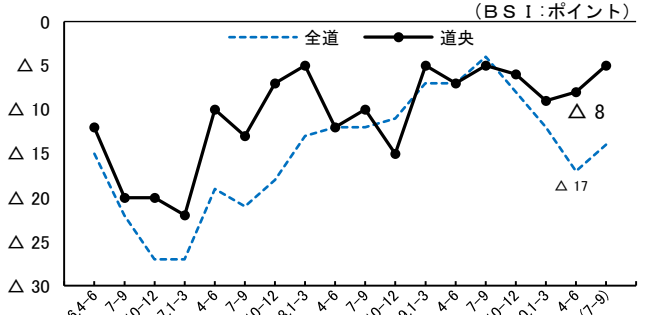
2か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感 (4-6月期)

前期からマイナス幅が縮小した

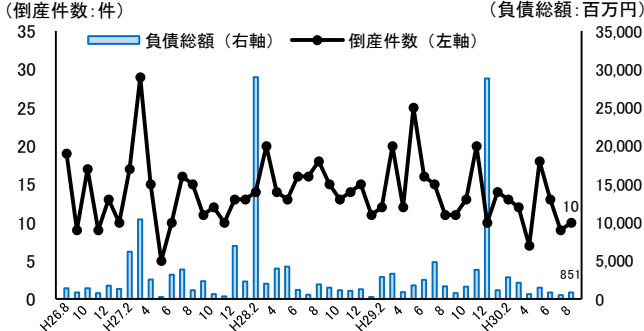


※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額 (8月)

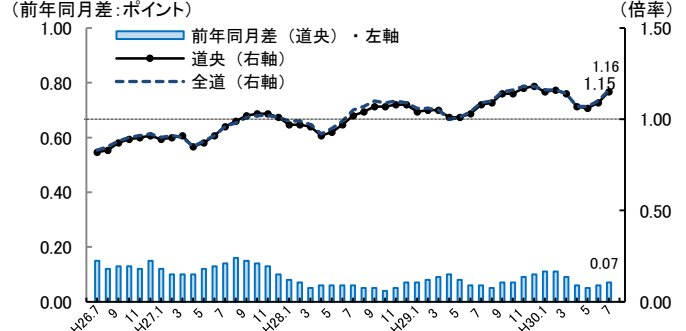
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

◆有効求人倍率(常用) (7月)

101か月連続で前年を上回った

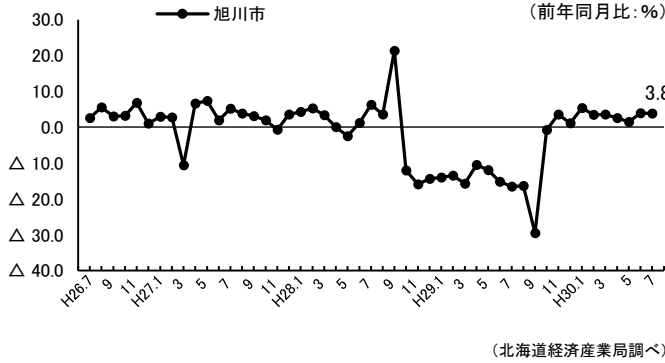


(北海道労働局調べ)

道北地域(留萌、上川、宗谷)

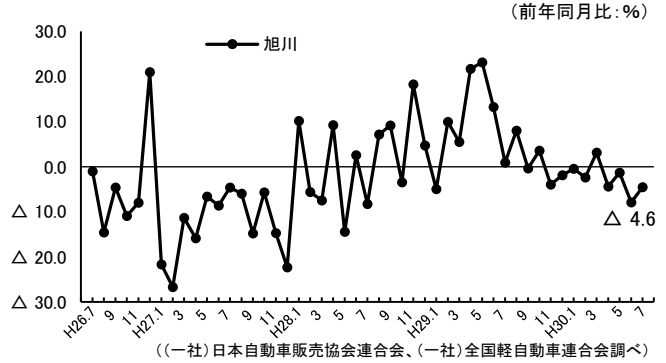
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(7月)

9か月連続で前年を上回った



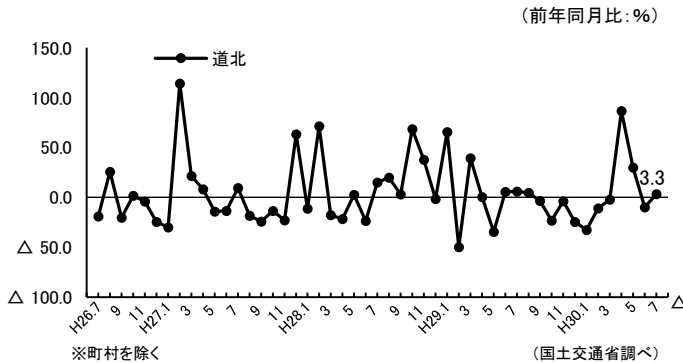
◆新車登録台数(乗用車)(7月)

4か月連続で前年を下回った



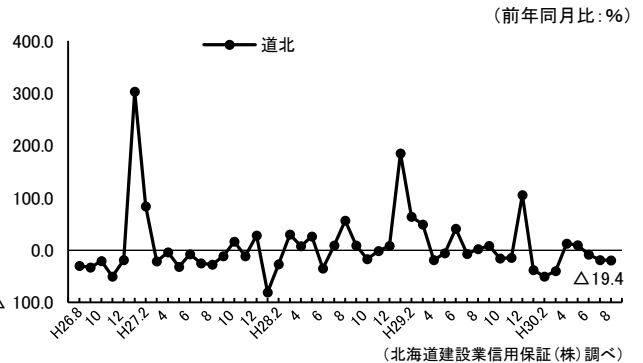
◆新設住宅着工戸数(7月)

2か月ぶりに前年を上回った



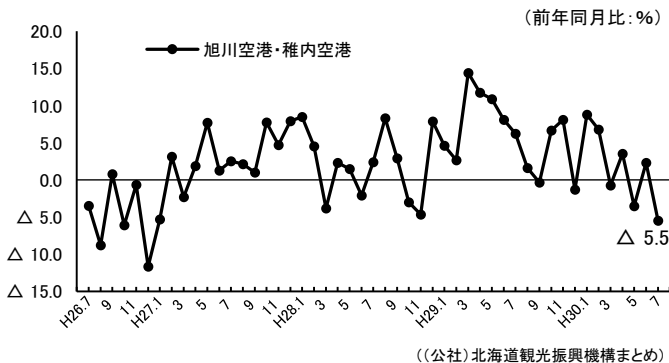
◆公共工事請負金額(8月)

3か月連続で前年を下回った



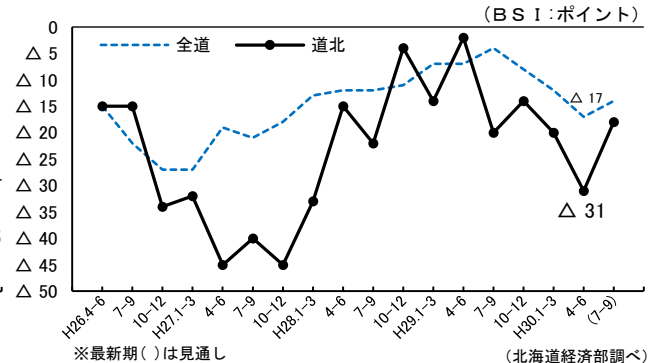
◆航空機利用による来道者数(着地別)(7月)

2か月ぶりに前年を下回った



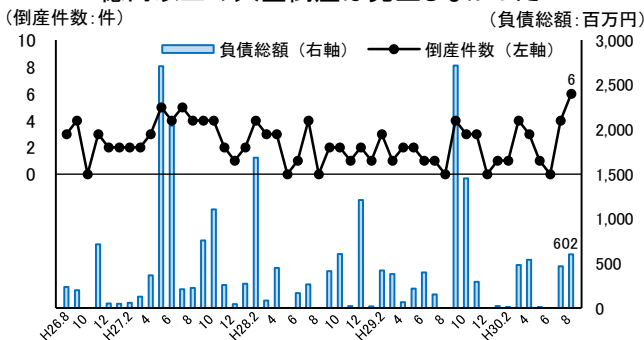
◆企業の業況感(4-6月期)

前期からマイナス幅が拡大した



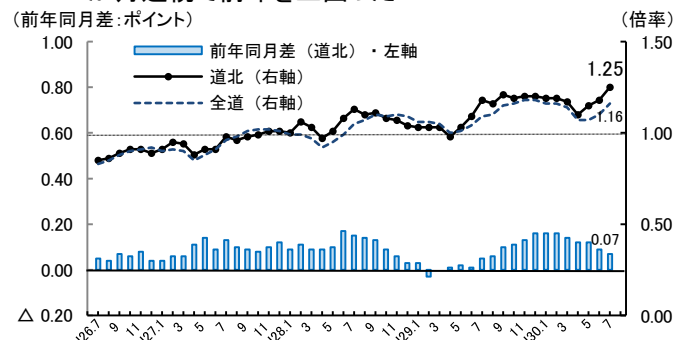
◆企業倒産件数・負債総額(8月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(7月)

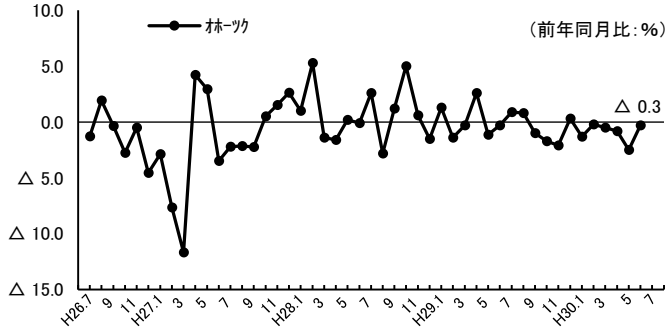
16か月連続で前年を上回った



オホーツク地域

◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース) (6月)

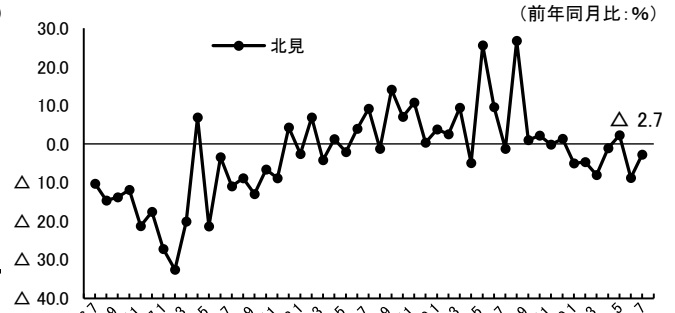
6か月連続で前年を下回った



※全道は大型小売店販売額 (北海道財務局北見出張所調べ)

◆新車登録台数(乗用車) (7月)

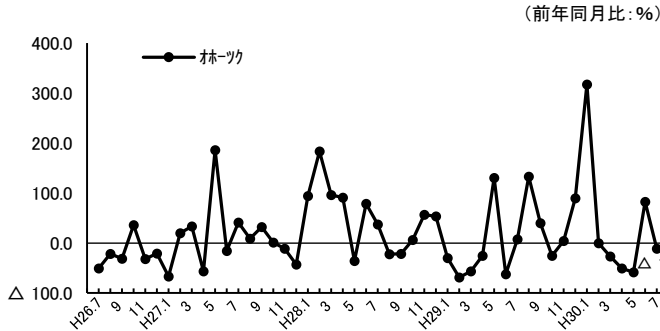
2か月連続で前年を下回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数 (7月)

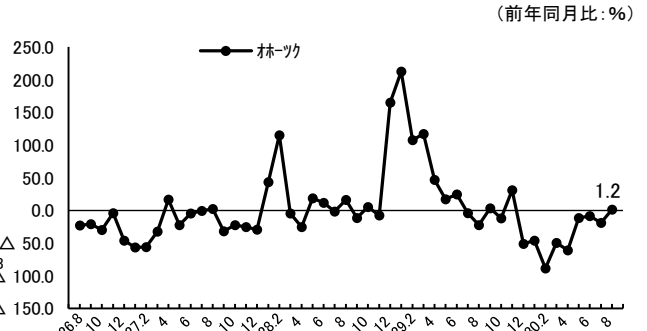
2か月ぶりに前年を下回った



※町村を除く (国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額 (8月)

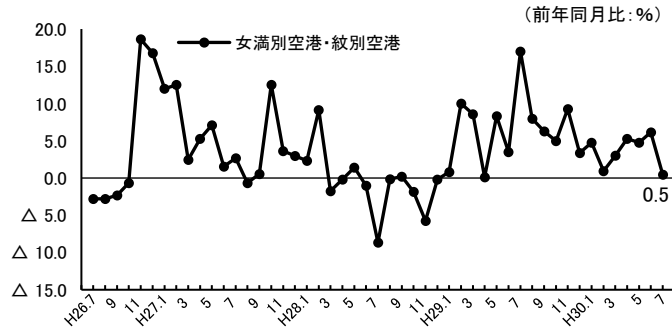
9か月ぶりに前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別) (7月)

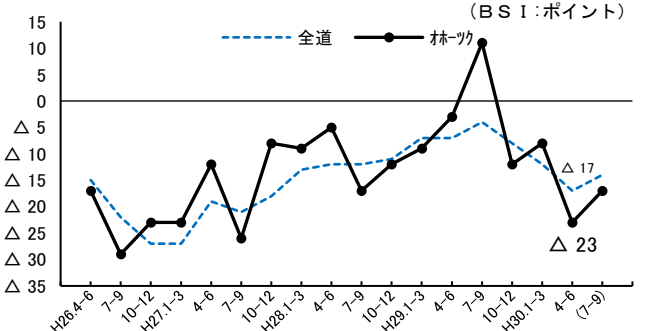
19か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感 (4-6月期)

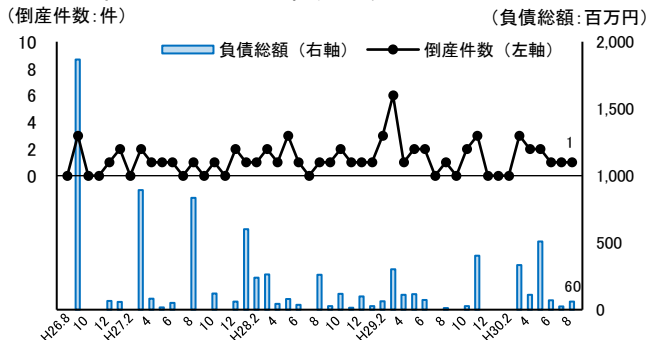
前期からマイナス幅が拡大した



※最新期()は見通し (北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額 (8月)

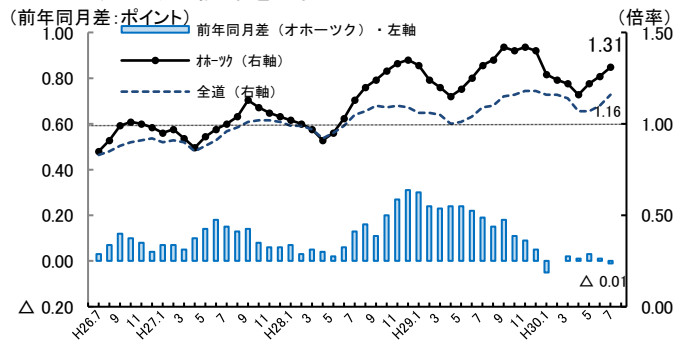
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

◆有効求人倍率(常用) (7月)

6か月ぶりに前年を下回った

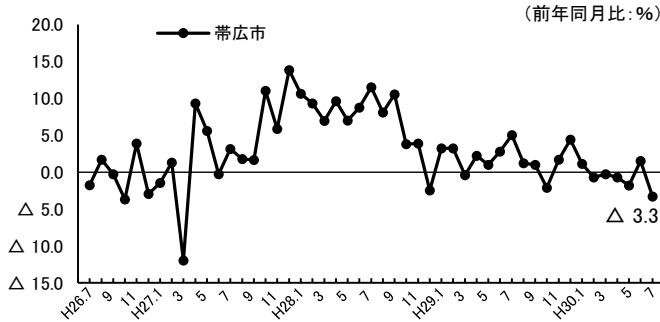


(北海道労働局調べ)

■十勝地域

◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(7月)

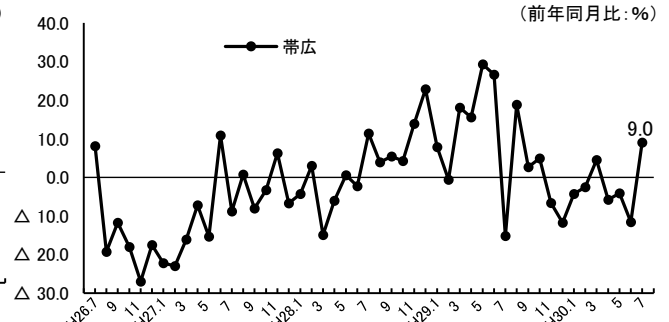
2か月ぶりに前年を下回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(7月)

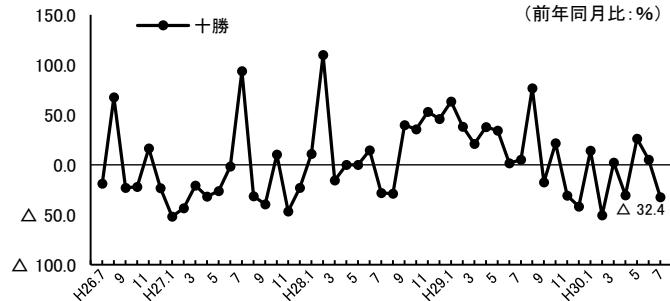
4か月ぶりに前年を上回った



(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ

◆新設住宅着工戸数(7月)

3か月ぶりに前年を下回った

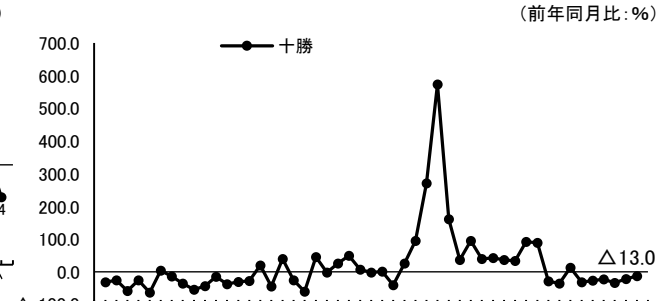


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(8月)

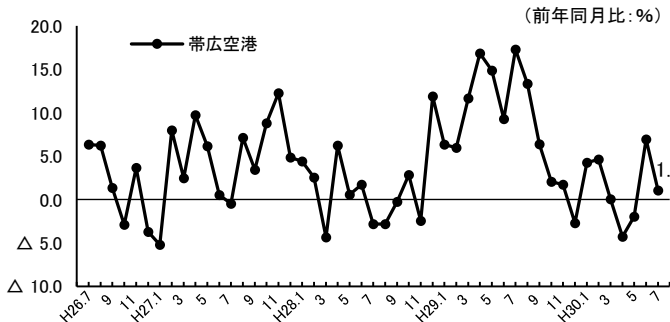
6か月連続で前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(7月)

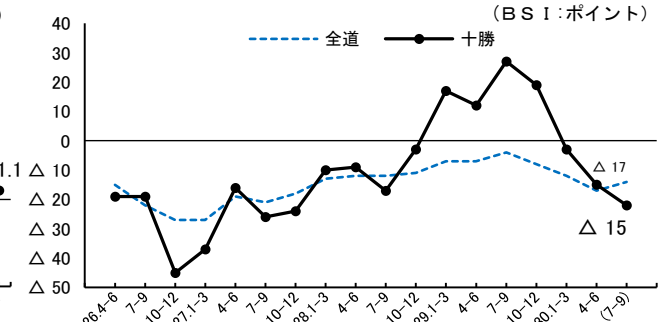
2か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(4-6月期)

前期からマイナス幅が拡大した

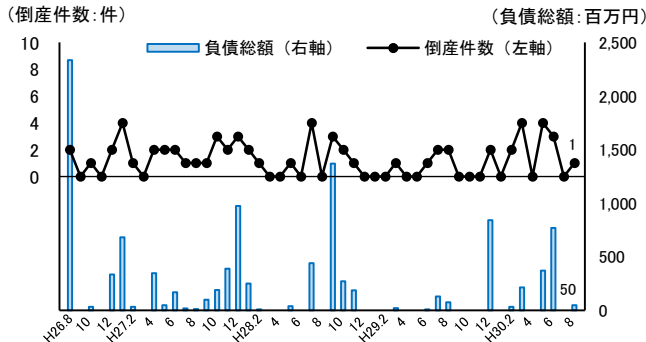


※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(8月)

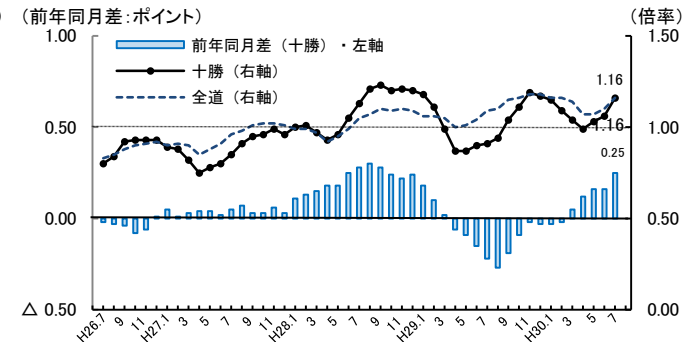
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ) - 14 -

◆有効求人倍率(常用)(7月)

5か月連続で前年を上回った

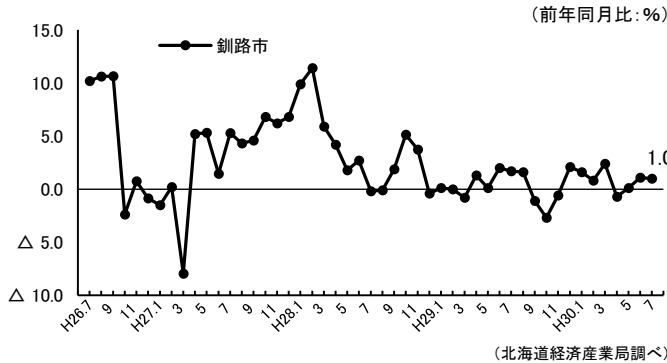


(北海道労働局調べ)

釧路・根室地域

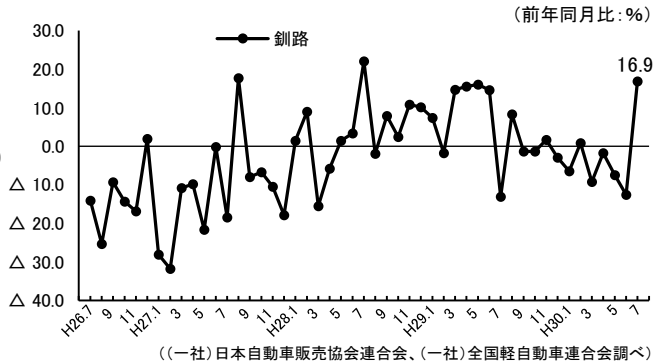
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース) (7月)

3か月連続で前年を上回った



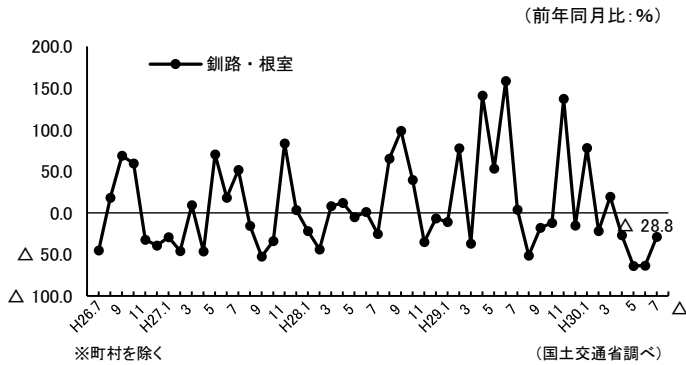
◆新車登録台数(乗用車) (7月)

5か月ぶりに前年を上回った



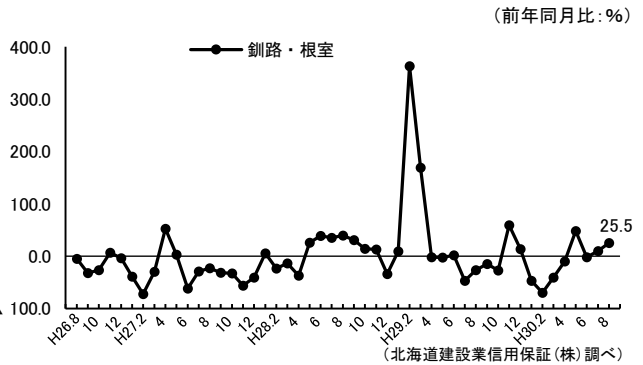
◆新設住宅着工戸数 (7月)

4か月連続で前年を下回った



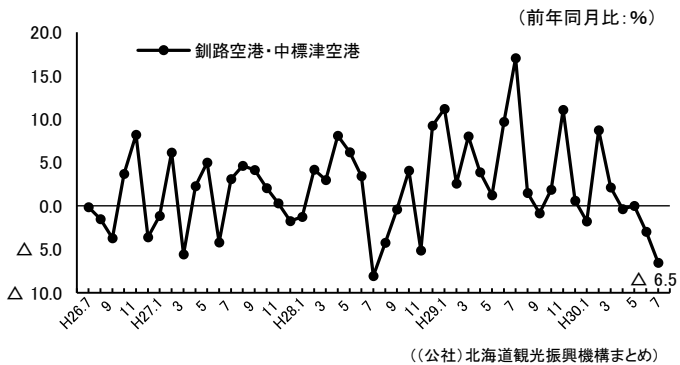
◆公共工事請負金額 (8月)

2か月連続で前年を上回った



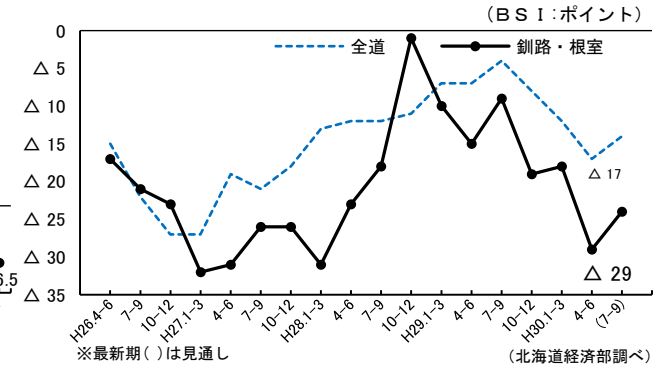
◆航空機利用による来道者数(着地別) (7月)

2か月連続で前年を下回った



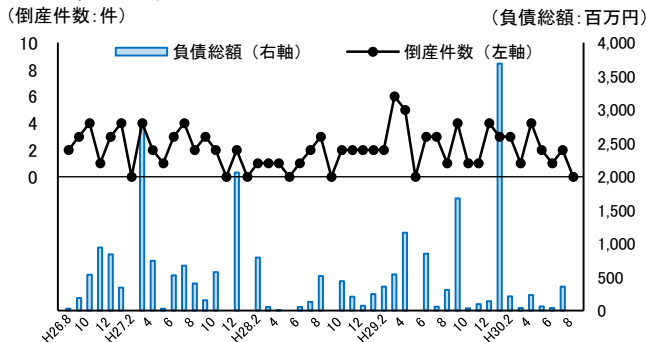
◆企業の業況感 (4-6月期)

前期からマイナス幅が拡大した



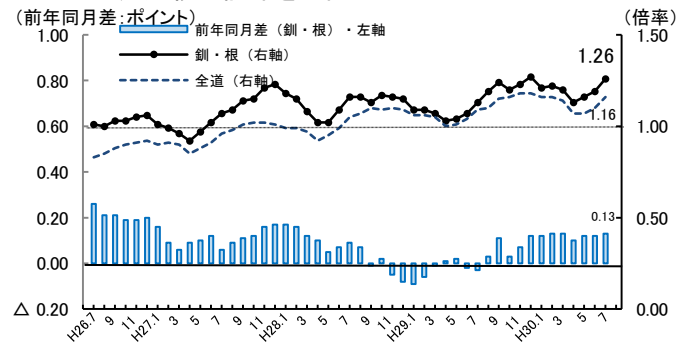
◆企業倒産件数・負債総額 (8月)

倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用) (7月)

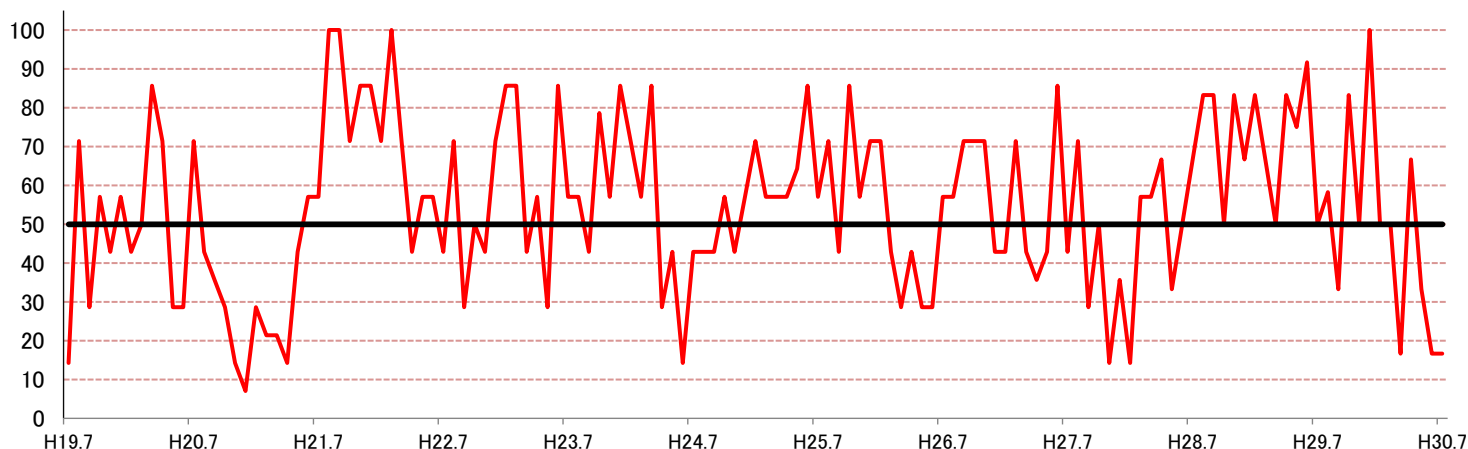
12か月連続で前年を上回った



[景気動向指数]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		29/ 7月	8月	9月	10月	11月	12月	30/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	-
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	-	+	-	-	+	+	+	+	+	-	-	-	-
	生産指数(生産財)	+	+	-	+	+	+	-	-	-	+	+	r +	p -
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	-	-
	新設住宅着工戸数	-	-	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-	-
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	+	+	-	-	-	-	+	+	-	+	-	+
	企業業況判断D.I.	+	+	+	0	0	0	-	-	-	+	+	+	
	拡張系列数	4	5	4	2.5	4.5	3.5	2	2	3	4	6	3	1
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6
	先行指数	57.1	71.4	57.1	35.7	64.3	50.0	28.6	28.6	42.9	57.1	85.7	r 42.9	p 16.7
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-
	生産指数(鉱工業)	-	0	-	+	-	+	-	-	-	+	+	r -	p -
	出荷指数(生産財)	-	-	-	+	+	+	-	-	-	+	+	r -	p -
	百貨店販売額(既存店)	-	+	-	+	-	+	-	-		+	-	r +	p -
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	+	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	-	-
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	+	+	+	+	-	+	+	+	-	+	-	r -	p +
	拡張系列数	3	3.5	2	5	3	6	3	3	1	4	2	1	1
	採用系列数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
一致指数	50.0	58.3	33.3	83.3	50.0	100.0	50.0	50.0	16.7	66.7	33.3	r 16.7	p 16.7	
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	-	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	
	完全失業率(逆サイクル)	+	+	+	-	-	-	+	+	+	-	-	-	
	消費者物価指数(総合)	0	+	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	+
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	+	+	+	+	-	-	+	-	+	-	+	-	+
	生産指数(資本財)	-	+	-	+	-	+	-	+	+	+	+	r -	p -
	拡張系列数	2.5	5	3	3	1	3	3	3	4	2	3	1	2
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3
	遅行指数	50.0	100.0	60.0	60.0	20.0	60.0	60.0	60.0	80.0	40.0	60.0	r 20.0	p 66.7

(注) 1 北海道経済部経済企画局経済企画課試算。pは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3カ月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

最近の経済動向
平成30年9月号

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>